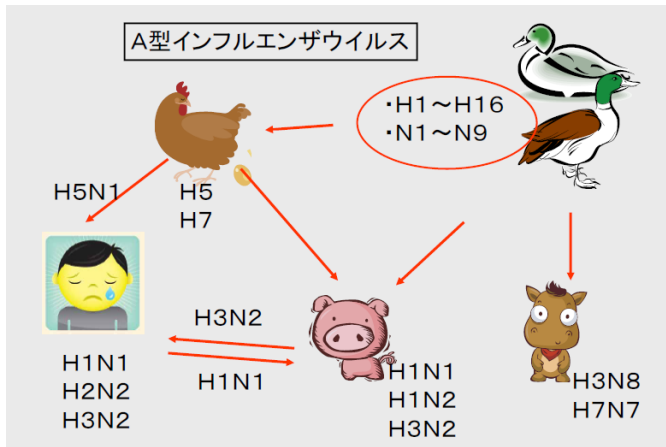
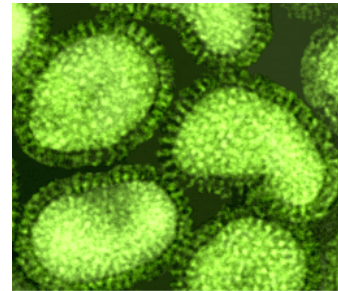


『今年は、まだまだ日本は人間のインフルエンザウイルスが猛威を振るっています』

年6月から8月にかけて、ほかの州のレース場でも犬インフルエンザの事例が報告されたそうです。



症状としては突然の発熱，咳，呼吸促迫，出血性の鼻漏が特徴的で罹患率は100%，死亡率は5%以下だそうです。感染犬のほとんどは治癒しましたが、出血性肺炎で死亡した犬もいたそうです。

## 今回は犬インフルエンザです。

人間のインフルエンザではないけど、犬には犬のインフルエンザがあります。

●一つは、犬パラインフルエンザです。

咳が続くケネルコフ（伝染性気管支炎）という病気の素になります。

●もう1つは、2004年にアメリカで発見された犬インフルエンザです。馬のインフルエンザウイルスが犬に感染とされています。犬から犬への感染も認められています。人間にはうつりません。

日本では発症の報告例はありません。これは、もともと馬のインフルエンザウイルスであった H3N8 インフルエンザウイルスです。

2004年1月、アメリカ合衆国のフロリダ州のジャクソンビルのドッグレース場で犬インフルエンザの発生が初めて報告されました。報告例は22頭のレース用グレイハウンドのうち、8頭が出血性肺炎で死亡しました。死亡した分離されたウイルス3株を解析したところ、すべての株は馬インフルエンザウイルス2型と同じ H3N8 亜型と一致したそうです。また、2004

厚生労働省 (Ministry of Health, Labour and Welfare)

動物と人の間には、**ルールがあります。**

ズーノーシス  
ペットからもうつる動物由来感染症を、**3つのふれあい習慣で防ぎましょう。**

- 1 節度あるふれあい
- 2 ふれあい時は手洗い
- 3 野生動物とはふれあわない

## 「2月はチョコレート中毒の多い月です」 バレンタインデーと関係があります

### 犬のチョコレート中毒に注意が必要

\*チョコレート (chocolate) は、カカオの種子を発酵・焙煎したカカオマス为主原料とし、これに砂糖、ココアバター、粉乳などを混ぜて練り固めた食品です。略してチョコともいいます。

フランス語でショコラ (chocolat) と呼ばれます。

### どうしてチョコレートで中毒が起こるのでしょうか？

チョコレートの中には、犬にとって有害物質である「テオブロミン」という成分が入っています。テオブロミンは、チョコレート、カカオ豆、カカオ豆の外皮、コーラ、茶に存在している物質で、特に、チョコレートやカカオ豆には含有率が高く含まれています。テオブロミンは、大脳興奮作用や呼吸興奮作用があり、中でも心悸亢進作用は非常に強いものがあります。

チョコレートを犬の目の届くところに置いておくと摂取する可能性がある場合や飼い主さんが知らないで与える場合があります。

犬は人間や他の動物に比べて摂取したテオブロミンを代謝(テオブロミンを代謝させる酵素が不足している・解毒分解)する能力が非常に低いということです。

犬では1度摂取したテオブロミンを分解排泄する能力は17.5時間でやっと50%(半減期)分解排泄すると言われていています。摂取してから約24時間が非常に危険な時間帯でもあります。

### チョコレート中毒の症状とは？

○嘔吐・下痢・興奮・抑うつ・不整脈・パンティング(ハーハーすること)・高体温・運動失調(フラフラすること)・ふるえ・痙攣・発作、時に死に至る昏睡等があります。

死亡の原因は主に不整脈か呼吸不全です。

## どのくらいの量のチョコレートを食べると危ないのでしょうか？

文献によっても違いますが  
体重1kgあたりのテオブロミンが  
100mg~200mgの摂取で中毒、  
240~500mg/kgの摂取で50%の犬が死亡すると言われていています。

10kgの犬で計算すると、  
テオブロミンとして500mg~1000mgを摂取すると中毒症状をあらわします。2500mg~5000mgを摂取した場合は、50%の確率で死亡してしまうというデータがあります。

**色の濃いチョコレート(ビターチョコレート)ほど毒性が強い(危険)可能性があります。**

### (参考)

- ホワイトチョコレート  
100gには0.8mgのテオブロミン。
- ミルクチョコレート  
100gには177mgのテオブロミン
- ダークチョコレート  
100gには、559mgものテオブロミン
- チロルチョコ  
1個には14mgのテオブロミン
- ◆明治ミルクチョコレート  
250mg/100g, 25mg/100g
- ◆森永ミルクチョコレート  
270mg/100g, 36mg/100g

\* チョコレートのパッケージにはテオブロミンとカフェイン分量の記載がありません。

この時期は飼主さんに食べてはいけないものを理解してもらい、チョコレートを動物の口の届く場所に置かないことを説明しましょう！！